

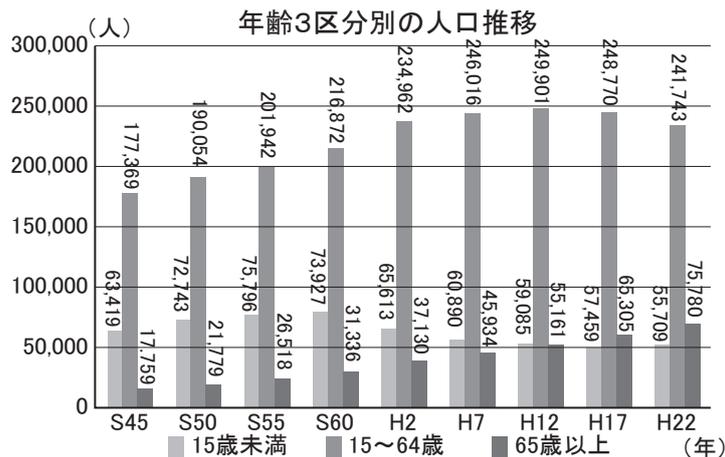
## 地方創生等計画策定調査特別委員会

平成27年7月23日に特別委員会が開催され「豊橋市人口ビジョン(案)」が提示されました。少子高齢化・人口減少は今や日本全体で起こっている問題です。

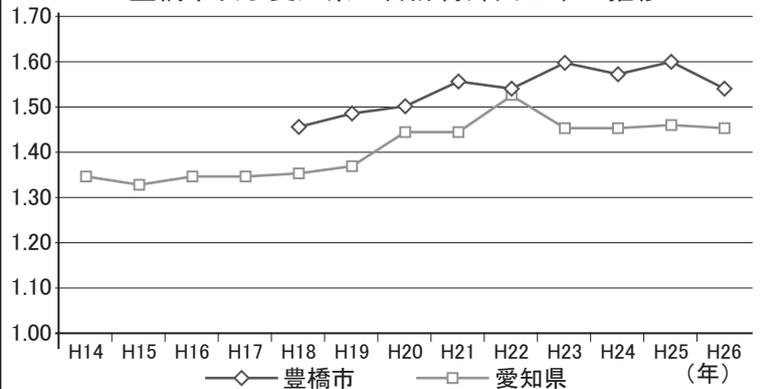
豊橋市においても平成21年を境に毎年人口が減ってきています。

年	豊橋市総人口	前年比増減
平成22年	382,461	—
平成23年	381,713	748 ↓
平成24年	380,724	989 ↓
平成25年	379,582	1,142 ↓
平成26年	378,890	692 ↓

また、単に各年齢層が平均的に人口減少しているのではなく、高齢者人口(65歳以上)が増加している一方、若年人口(15歳未満)と生産年齢人口(64歳以下)がそれ以上に減少していることでトータルとして人口が減っていますから、働く人が減れば税収も減りますし、また高齢者が増えれば社会保障等の費用は増えますから、今後、更に行政の運営が厳しくなることは必至です。



豊橋市及び愛知県の合計特殊出生率の推移



少子化対策は長期戦略です。国立社会保障・人口問題研究所によると人口を維持するためには合計特殊出生率を2.07にする必要があるそうです。豊橋市では過去最低の平成18年、1.44から平成26年には1.53まで回復してきています。

今回、これを15年後には1.8に、そして25年後には2.07になるよう対策する必要性が示されました。

同ビジョン(案)では、そのための対策として

- ① ひと・仕事・学びの好循環を創る
- ② 若い世代が子供を産み育てやすい社会にする
- ③ 時代に適応したコンパクトなまちをつくる
- ④ 広域連携により持続可能な地域をつくる

の4つを挙げています。

私は子育て世代として特に②の充実が必要であると考えます。

## ホームページのおしらせ

〈中村竜彦公式ホームページ〉

<http://www.tatsuhiko.jp/>



## 『豊橋ほっとメール』もう登録してますか？

携帯電話は、一般電話に比べ規制を受けにくく、普及率も高くなってきているため、災害時に強いと言われて

います。インターネットを携帯電話で利用することにより、大規模災害時や緊急時などには、より早く、かつ正確な情報を手に入れることができます。

そこで、豊橋市では携帯電話やパソコンのメールで安全・安心にかかわる情報を配信しています。

主に、豊橋市内での防災情報、防犯・不審者情報、交通安全や消費生活などの情報を個人個人にメールで配信するサービスです。まだ登録されていない方は是非、登録をお願いします！

〈登録の方法〉

[tou@anzen-ansin.net](mailto:tou@anzen-ansin.net)



上記のアドレスに、件名も本文も空白のままメールを送信いただくと、すぐに登録用のメールが返信されてきますので、そのメールに従って登録手続きを行ってください。

※携帯電話に迷惑メール防止機能を設定している場合は「anzen-ansin.net」を受信できる設定にしてください。



あなたの声をお聞かせ下さい。

FAX: 0532-47-2648

お送り頂いた声は一つ一つ中村本人が目を通して頂き、議会および地域での活動の参考にさせていただきます。